資料2：山村ミーティング資料

減災へ 市民が森づくり

2000年9月の東海豪雨を機に始まった市民による災害に強い森づくりが、愛知県などを流れる矢作川の流域で続いている。下流の都市部で暮らす人たちが、上流の森に関わって水害の防止に貢献する森林ボランティア活動で、全国にも広がりを見せる。国などによる河川整備も進む一方で、豪雨災害が激甚化する中、減災に向けて流域ごとの対策も問われている。（曽布川剛）

❹昨春活動を始めたメンバー茎に間伐技術を伝える恵比根美明さん（右から2人目）＝愛知県豊田市の人工林で ❺名古屋市内の庄内川で続く河川整備

東海豪雨25年

矢作川上流を間伐 全国のモデルに

「木が傾いているので、谷側に倒れないようロープをかけて切りましょう」。7日、愛知県豊田市下山地区の人工林。間伐に取り組む市民団体などによる「矢作川水系森林ボランティア協議会（矢森協）」代表の恵比根美明さん（66）＝同県東郷町＝が声をかけた。矢森協には、10年以上の実績がある団体もあれば、昨春できた団体も。先輩が後輩に技術を伝えながら、行政や森林組合らプロの森づくりを補ってきた。

設立のきっかけは、元代表の岡羽健司さん（71）＝名古屋市熱田区＝が矢作川の惨状を目の当たりにした東海豪雨。上流の数百カ所で土砂崩れが発生し、ダム湖は流木で埋まった。下流では豊田スタジアム周辺が広範囲で浸水した。

流域の人工林が手入れされずに過密になると、光が入らず、草が生えない。降り注ぐ雨が地面に直接当たって土壌を削り、土砂崩れにつながりかねない、と山主の背中を押していこう、と健全な森づくりを目指し、04年に周辺の6団体で発足させたのが矢森協だ。

「森の健康診断」と銘打ち、岐阜、長野両県を含む流域全体の人工林の過密度などを研究者と10年かけて調べ、7割超の森が不健全な現状が明らかに。調査手法は全国のモデルになり、データはプロの間伐にも生かされた。活動拠点を置く豊田市では、05年で2万㌶あった過密人工林は5分の1以下になった。

NPO法人森づくりフォーラム（東京）によると、税金による助成も追い風に全国の森林ボランティア団体の数は増え、90年の600弱から今は約3千に。蔵治光一郎・東京大大学院教授（森林水文学）は「中には木材を生産しようとしてプロと競合する団体もあったが、矢森協は間伐を仕事として請け負うことはせず、都市住民と森をつなぐ役割に徹したのが先進的」と評価する。

流域では近年、大きな水害がなく、活動の原点となった防災意識の薄れが課題の一つという。恵比根さんは「森に目を向け続け、山主など上流の仕人やプロの森づくりに刺激を与えたい」と話している。

核心

「流域治水」国が推進

国などは河川整備などを通じた減災対策を水系ごとに進めてきた。

東海豪雨では、庄内川水系の新川が決壊するなどし、愛知県内だけで名古屋市面積の3分の1に当たる約105平方キロが浸水した。これを受けて国は2008年度、庄内川水系で東海豪雨級の大雨でも安全に水を流せる河川整備計画を策定。名古屋市西区で堤防を移築して川幅を広げ、東海道新幹線を含む3橋を31年度までに架け替える計画で、仮設橋が一つ開通済みだ。

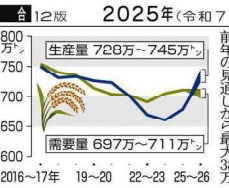
一方で近年、18年の西日本豪雨や19年の東日本台風など堤防が決壊する豪雨災害が頻発し、流域全体で減災を図る「流域治水」の取り組みも浸透。庄内川水系では20年度、名古屋市や岐阜県多治見市など愛知、岐阜両県内の23市町で雨水排水網の新設や避難のための高台整備も始まった。

さらに国は21年、気候変動で40年ごろに降雨量が従来想定の約1・1倍に流量が1・2倍になる試算を公表。学校の校庭を使った貯水施設整備など対策の追加を自治体に促し、河川整備計画も試算結果を踏まえた内容に見直している。

ただ見直しには、国の審議会による水系ごとの整備基本方針の改定が必要。想定を超える豪雨に見舞われた水系が優先され、全国109水系のうち改定は大雨川（静岡県）など30にとどまる。田代喬・名古屋大特任教授（河川工学）は「流域治水に本気で取り組むなら、整備計画の見直し段階から自治体との議論をより深めるべきだ」と連携強化を求める。

コメ需要 最大38万トン増

訪日客反映 年間見通し711万トン



※各年9月末までの1年間。24～25年は速報値、25～26年は見通し

農林水産省が2025年7月から26年6月の主食用米の需要見通しについて、前年の見通しから最大38万トン増となる711万トン（玄米ベース）と試算したことが、分かった。需要の算出法を改め、インバウンド（訪日客）消費などを取り込んだ結果、前年7月時点の見通し673万トンから大幅増となる。前年比で増加するのは異例。農水省はコメ増産を目指す方針で、その必要性を補完する形となる。

新たな算出方法による需要量の試算結果は697万～711万トン。今年6月までの1年間の実績である711万トンと同水準になり得ると見積もる。従来は人口減や、パン食の広がりなどで1人当たりの消費量が減少することを前提としてきたが、これを改める。総務省の家計調査などから導いた直近5年間の実績を基に、幅を持たせて試算する方法に変更した。

25年産米の生産量は728万～745万トンと見積もった。コメ不足を受けた主食用米の作付けが増えた。玄米を精米した後、食用に回るコメの生産量を初めて公表し、645万～668万トンと推計した。需要は精米ベースだと624万～631万トンを見込んでおり、供給が上回ると分析した。

生産増に伴い、26年6月末時点の民間在庫は198万～229万トンと異例の規模を見込む。近年で最も多かった15年の226万トンと同規模で、コメ余りの懸念が広がる可能性もある。

米保守活動家 銃撃され死亡

「MAGA」若者代表格

【ロサンゼルス＝共同】米西部ユタ州オレムのユタバレー大で10日、著名な保守系の政治活動家チャーリー・カーク氏（31）がイベントで討論中に撃たれ死亡した。カーク氏はトランプ大統領の熱烈な支持層「MAGA」の若者の代表格として知られ、昨年の大統領選ではトランプ氏の勝利に貢献した。捜査当局が容疑者の行方を追っている。

捜査当局者は記者会見で単独犯による犯行とみられ、発砲は1度だったと説明。離れた建物の屋上から銃撃した可能性があると指摘した。11日までに犯行に使われたとみられるライフルを発見。米メディアによると、ライフル内部からトランスジェンダーの権利擁護を支持する趣旨の刻印がされた銃弾が見つかった。

トランプ氏は交流サイト（SNS）で「米国で彼ほど若者の心を理解した人はいなかった」と追悼。動画声明で「過激な左派による政治的暴力がまりにも多くの命を奪ってきた」と主張した。11日の演説で、文民最高の勲章である「大統領自由勲章」を授与すると発表した。カーク氏は9日、東京都内であった参政党のイベントで講演していた。

米メディアによると、カーク氏は中西部イリノイ州出身。18歳だった2012年、伝統的な価値観を若者世代に広めるため非営利の団体「ターニング・ポイント・USA」を創設した。同団体は3500以上の大学や高校にメンバーがいる組織に成長。16年大統領選からトランプ氏を支持し関係を深めた。10日のイベントは屋外で開かれ、約3千人が参加した。

政治団体「ターニング・ポイント・USA」によると、カーク氏は9日、ネタニヤフ氏と電話会談し、空爆を巡り激論を交わしたと報じた。トランプ氏は不意を突かれたことへの「深い憤り」を伝え、攻撃は賢明ではなかったとも訴えた。

カタールは、パレスチナ自治区ガザの停戦交渉の仲介国を務める。ムハンマド首相兼外相は米CNNテレビで、今後の交渉への関わり方を含め「あらゆる点を再検討している」と述べ、ネタニヤフ氏への怒りをにじませた。

カタール外務省は、アラブ諸国の首脳会議を14～15日にドーハで開催すると発表。ネタニヤフ氏の発言に「ハマス事務所は米イスラエルの要請に基づき、仲介活動の一環としてドーハに置かれている」と強調した。9日の空爆ではハマスのメンバー5人が死亡した。

ハマス追放を要求

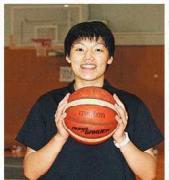
イスラエル、カタールに圧力

【ドーハ、エルサレム＝共同】イスラエルのネタニヤフ首相は10日、カタール政府がパレスチナのイスラム組織ハマスをかくまっていると批判し、追放や処罰の措置を取らなければ、われわれがやる」とさらなる攻撃の可能性を示唆し、圧力を強めた。

米紙ウォールストリート・ジャーナルは、トランプ米大統領が9日、ネタニヤフ氏と電話会談し、空爆を巡り激論を交わしたと報じた。9日の空爆ではハマスのメンバー5人が死亡した。

この人

高校総体26度目優勝の桜花学園高バスケ部監督 白 慶花（ペク キョンファ）さん（32）



高校女子バスケットボール界の名門、愛知・桜花学園高の監督を1月から務める。今夏に岡山で開かれた全国高校総体では26度目の優勝を果たし、「選手がよく頑張ってくれた」と相好を崩す。

中学時代は180キロ超あった身長がコンプレックス。気持ちを前向きにさせてくれたのが、同高前監督の井上真一さんだった。「身体が大きいのはバスケでは大きな武器。親からの宝物だよ」との言葉にほだされて入学した。筑波大を経てWリーグで8季プレー。引退後の2023年、母校にアシスタントコーチとして戻った。

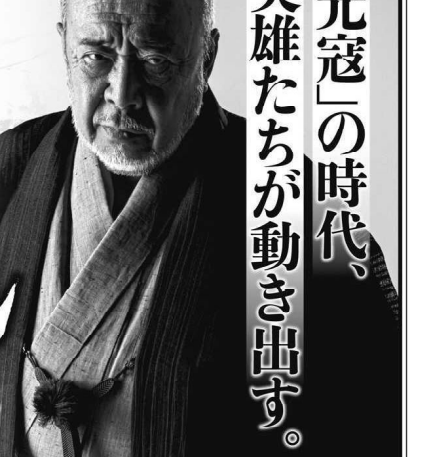
ある時、回りくどい言い方で選手にアドバイスをした際、井上さんから「そんな伝え方だったら選手は迷う。選手を困らすことはコーチとして一番やってはいけないことだ」と叱責された。選手として接した高校時代とは、また違った学びを吸収する日々だった。

恩師は昨年末、78歳で二の世を去った。基礎を大切にする育成方針は貫きつつ、時代の変化に対応した戦術も採り入れながら、伝統を継承していく覚悟だ。

「趣味は勉強」。今も筑波大院でスポーツコーチングを学ぶ。（鈴木啓紀）

「元寇」の時代、英雄たちが動き出す。

作家デビュー55周年を迎えた北方謙三。ハードボイルドから歴史小説まで、常に新たな挑戦を続け、高みを目指してきた。全51巻の超大作「大水滸伝」シリーズ、そして、チンギス・カンの激動の生涯を描いた「チンギス紀」から二年——。大草原での戦いは海を渡り、いよいよ日本へ。偉大なるチンギスの孫、クビライと、鎌倉幕府の第八代執権、北条時宗。二人を柱に「元寇」の時代を鮮やかに描く、新たな歴史長編シリーズ、堂々開幕！



撮影／長濱 治

物語りは永遠である 北方謙三

森羅記（しんらき）

一 狼煙の塵（ろうえんのじん） 最新刊・発売中

北方謙三

時は13世紀。王座が空位のままのモンゴル帝国は、権力争いにより混沌としていた。そんな中、クビライは祖父・チンギスの足跡を辿る旅で海に魅了される。一方、日本では鎌倉幕府の執権・北条時頼が水軍の準備を進めていた…。

文芸単行本●定価2,090円（税込）［電子書籍版も配信中］ 四六判／ハードカバー
装画：柳智之 題字：大迫関歩 ◎第二巻 2026年2月発売予定 以降続刊

★北方謙三氏の刊行記念トークイベントに抽選で100名様無料ご招待！
10月24日㈮・東京都内 ◎応募締切り：2025年9月30日 主催：株式会社集英社／公益財団法人一ツ橋綜合財団
※ペケット参加に伴う交通費・宿泊費などはお客様負担となります。

◀北方謙三55周年サイト https://lp.shueisha.co.jp/kitakataportal/
◀『森羅記』特設サイト https://lp.shueisha.co.jp/shinraki/

◎お求めはお近くの書店、または集英社HPから https://www.shueisha.co.jp
ご応募はこちら▲
集英社の本